

## — 特 許 記 事 —

## 最近の製鐵鋼業界に於ける発明

特許出願公告 (昭和 29—9—14)

- | 公告番号      | 発 明 の 名 称  | (発明者)       | 出願人      |
|-----------|--|-------------|----------|
| 昭 29—5851 | <b>酸化鐵鑛の浮遊選鑛法</b>  | (和田正美外 1 名) | 選鉄製煉研究所長 |
|           | 炭酸ソーダを以てアルカリ性とした鉄液中に於て酸化鉄鉄を石鹼浮選する場合に原料を予め適量の炭酸ソーダの存在の下に湿式粉碎することにより条件附与を行い、得られた鉄液を脱泥した後浮選を行う方法。   |             |          |
| 昭 29—5858 | <b>鑄鐵の還元製煉法</b>  | (岩瀬慶三外 2 名) | 金属材料研究所長 |
|           | アルカリ土類金属又はその化合物を生成又は含有する還元性熔滓、或はアルカリ及アルカリ土類の青化物、石灰窒素等の 1 種又は 1 種以上を含む各単独還元性熔滓又は混合熔滓を以て熔解炉中において鑄鉄を還元精錬し、出湯後フェロシリコン又はカルシウムシリサイド等を以て接種する方法。 |             |          |
| 昭 29—5859 | <b>微細黒鉛鑄鐵の製造方法</b>   | (小坂雄吉)      | 同 人      |
|           | 熔融状態の鑄鉄に対してセレンを添加し作用せしむる方法。  |             |          |

特許出願公告 (昭和 29—9—20)

- |           |  |             |            |
|-----------|--|-------------|------------|
| 昭 29—6012 | <b>平爐滓団塊に含有せる鋼の分離方法</b>  | (野村 六郎)     | 同 人        |
|           | 冷却した平炉滓団塊に硫酸を散布浸潤せしめ暫時放置した後之に打撃を加え破碎しててノロ分と遊離鋼分とを分離する方法。   |             |            |
| 昭 29—6013 | <b>特殊な熔滓平衡に依つて高級鑄鐵を製造する方法</b>  | (森常太郎外 1 名) | 亜細亜興産 K.K. |
|           | 銑鉄又は屑鉄或は鑄鉄の熔解に当り還元剤の直接還元による外高酸性の熔滓成分の平衡範囲内に於て高酸性反応を行いつゝ鉄中に固溶する FeO の含有量を約 0.01% 以下に低減せしめる方法。       |             |            |
| 昭 29—6014 | <b>電気抵抗用鑄鐵</b>   | (小見 謙路)     | 同 人        |
|           | C=2.5~4.0%, Si=2~8%, Te=0.01~10% を含有するもの。  |             |            |
| 昭 29—6019 | <b>重合チルドロール鑄造鑄型</b>  | (大谷 孝吉)     | 同 人        |
|           | 金型及上下砂型から成る鑄型の下部砂型の側部及下底部に湯口を設け、これら 2 湯口を夫々同一湯道に連通し側部湯口に通ずる通路中にチル化促進剤を、また下部の通路中にグラファイト化促進剤を装入するもの。 |             |            |

特許出願公告 (昭和 29—9—25)

- |           |   |         |     |
|-----------|---|---------|-----|
| 昭 29—6104 | <b>熱風熔解爐</b>  | (星野 信嗣) | 同 人 |
|           | 風洞の下部から 2 次空気管を出し途中に調節弁を設け、2 次空気管を炉本体の上部に設けた 2 次空気室に開口し、2 次空気室には 2 次空気吹込用羽口を設け炉頂再燃焼室と連通させたもの。 |         |     |

特許出願公告 (昭和 29—10—9)

- |           |   |                    |     |
|-----------|---|--------------------|-----|
| 昭 29—6405 | <b>海綿鐵製造法</b>   | (向山幹夫, 菊地麟平, 樋口源市) | 同 人 |
|           | 2~10% 硫黄を含む原料鉄鉄石に適量の炭素剤と粘結剤とを加え水に混和して団塊とし 800°C 内外で急熱固化後冷却し 200~600°C で還元炉に装入推積して先づ硫黄分を燃焼せしめ温度を高めて還元を進行させる方法。 |                    |     |
| 昭 29—6442 | <b>海水、鹹水等よりクロム、マグネシヤ耐火物の製造法</b>   |                    |     |
|           | 海水、鹹水及類似の溶液に消石灰、ドロマイト、苛性曹達等を添加し水酸化マグネシウムを沈澱せしめる際同時にクロム鉄鉄、酸化クロム等を添加し澱物を乾燥、焼成する方法。                              |                    |     |